

SAITAMA UNDER-15 TO THE WORLD



2019 U15 リーグ戦 実施運営要綱

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 U15 カテゴリー一部会

1 リーグ戦の目的及び事業概要

①-1 リーグ戦の目的

リーグ戦を行う目的を次のように定める。

I 登録したすべての選手の長期的な育成を図ること。

II 実力が拮抗したゲームの設定を通して、選手の育成を図ること。

トーナメントによる試合方式は勝ち上がっていくチームの試合数が増える一方、負けてしまったチームはその後の試合が確保されない。つまり、トップのチームの育成を図ることができる一方、それ以外のチームの成長の機会を失ってしまうことにつながりかねない。特に、多くの経験が成長には不可欠である15歳以下の育成世代にとっては、成長の芽を摘んでしまうことになる。同時に、組み合わせによっては拮抗したゲームが保証されにくくなるという問題もある。

そこで、15歳以下の育成世代において階層化されたリーグ戦を実施する。階層化することにより、実力が拮抗したチーム同士の試合が設定しやすくなるとともに、適正な競技レベルでの経験値の増加にもつながる。また、リーグ戦に参加する1チームあたりの適正な人数を設けることで、登録したすべての選手が、適正なレベルでの試合の経験を積むことができると考えられる。

ただし、ここで一つ注意をしておきたいのは、今回の事業によりリーグ方式の方がトーナメント方式よりも優れていることを示すものではないということである。本事業は世代や目的にあった試合方式を提案するものである。つまり、育成世代におけるリーグ方式とトーナメント方式の融和を図り、選手の更なる成長を目指すものである。

①-2 事業概要

- ① 目的達成のため、都道府県協会（PBA）の独自性を活かしながら計画・実施する事業である。
- ② リーグ戦を実施することが目的ではなく、リーグ戦文化を定着させることで、拮抗した試合を設定し、選手や指導者の育成を目指すものである。
- ③ 埼玉県U15カテゴリー部会では、2020年度完全実施。

今回の事業を行うことにより、様々な場面での変化が起こる。現在考え得る変化は、①試合数の増加、②1団体1チームからの脱却である。総当たりでの試合になるため公式試合の数はこれまでよりも増加するチームがほとんどである。同時に、1団体1チームという制限は設けずに、選手の技量や年齢に応じて複数のチームで参加することも可能としたため、これまでは試合に出る機会が少なかった選手にも、その選手の技量に応じた機会の増加が見込まれる。ただし、これらは新しい変化であり、既存の考え方だけでは適切な運営は難しいと考えられる。機会を増やすということは、その分それを支える指導者や役員の協力が必要である。これまでも多くの方々が様々な方面から埼玉県のバスケットボールの向上にご尽力いただきました。今回の事業は、選手の育成を第一義とする一方で、埼玉県のバスケットボールが益々発展することを目指すものでもある。

2 リーグ戦の日程（年間計画）およびその概要 ②-1 年間計画表

月	Winter Round (U-14)	Autumn Round (U-15)	その他
1			10(木)次年度事業説明会2/16についてmail配信とHP掲載 (資料は各自ダウンロードして準備)
2			6(水)19:00～ U15C部会 … (14:00～中体連常委会) ・事業説明会打ち合わせ 16(土)18:00～ 次年度U15C(DL,DC)事業計画説明会@吹上中 ・時：年間計画(申込～移籍～試合～報告) ・人：組織総長、事務局役員 ・物：体部総長、表彰品 ・金：参加費と使途、保険 ・代表者会議 日時・場所・資料mail配信とHP掲載
3			3月中旬～ 新年度JBA登録開始
4			～4/10 (中体連役員勤務地異動確認、名簿整理、WR結果集約) 10 SBAへ冊子原稿提出 (製本発注)
5	19(日)15:00～ 登録全チーム代表者会議	19(日)15:00～ 登録全チーム代表者会議@栄高校 ・JBAチーム登録書の領収書コピーの提出(紙での提出) ・パンフレット購入希望申込書配布 ・運営マニュアル説明(資料は各自ダウンロードして準備) →各部署からの具体的な運営について説明、データ配布	10 JBA登録終了 11 登録チーム代表者にメール配信 ・5/19代表者会議について再連絡 ●体育祭が多い時期
6		5/22水～6/5水 ARエントリー～支払い期間 (TeamJBA, コピー支払い) ・AR参加希望リーグ戦屋をメールで提出 (ユニット毎) →提出先は参加希望リーグにより担当が異なる	●中体連 総体 (地区予選)
7	15～31 WRエントリー～期間 (TeamJBA, コピー支払い) ・WR参加希望リーグ戦屋をメールで提出 (ユニット毎) →提出先は参加希望リーグにより担当が異なる	※ グループ 役員：計画準備期間	25～31 JBA移籍期間 ●中体連 総体 (県大会)
8	第3(日) WR所属リーグ 決定戦要綱配布	第2(日) AR要綱提出(グループ内通知) 第3(土) 全地区AR要綱：県HP掲載 第3(日) グループ毎代表者会議実施 (パンフレット配布) ・保険加入のコピー、参加同意書(写真、マルファン、保険同意確認)、参加料振込 領収書コピー、選手最終エントリーの提出、TEAMJBA登録一覧表	●体育祭が多い時期
9	第3(日) WR所属リーグ 決定戦 (必要なケースのみ)	1 AR開始	
10	第2(日) 事務局：WRグループ 編成発表	★県1,2部リーグ：27までにAR終了 (30 WM要綱配布)	
11	※ グループ 役員：計画準備期間	★県1,2部リーグ：2 AR結果報告締切 4.17.24 WM実施(参加申込前日) 30 JBA U15選手権申込締切	●中体連 新人 (県大会)
12	第2(日) WR要綱提出(グループ内通知) 第3(土) 全地区WR要綱：県HP掲載 第3(日) グループ毎代表者会議実施 ・保険加入のコピー、参加同意書、参加料振込領収書コピー 選手最終エントリーの提出、TEAMJBA登録一覧表	◆県1,2部以外のリーグ：1までにAR終了 ◆県1,2部以外のリーグ：7 AR結果報告締切	(JBA U15選手権本選)…2020以降はこの時期
1	4 WR開始		
2			上旬 19:00～ U15C部会・事業説明会打ち合わせ… (14:00～中体連常委会) 15 (土) 18:00～ 次年度U15C(DL,DC)事業計画説明会@吹上中
3	20 WR終了 31 WR結果報告締切		3月中旬～ 新年度JBA登録開始 JBA U15選手権本選 (2019WMが目指すところ)

②ー２ リーグ戦に関わる用語の解説

- ・ Prefectural League (PL) → 県リーグ（最大３階層）
- ・ Regional League (RL) → 地区リーグ（最大３階層）
- ・ Winter Round → １４歳以下のリーグ戦。
- ・ Spring Madness → 県リーグ入れ替え戦および地区リーグ上位チームによるチャンピオンシップを行う。
- ・ Autumn Round → １５歳以下のリーグ戦。
- ・ Winter Madness → U15選手権県予選。
- ・ チーム → JBA にチーム登録した組織の単位
- ・ ユニット → リーグ戦にエントリーする組織の単位

②ー３ リーグ戦の流れ

リーグ戦の流れは次のようになる。

I Winter Round の所属リーグの決定

II Winter Round の実施。各リーグ順位の決定。

III Winter Round の結果を受けて Spring Madness の実施。

→ PL は入れ替え戦を行い Autumn Round での所属リーグを決定し、RL はチャンピオンシップを実施する。

IV Autumn Round の実施。各リーグ順位の決定。

V Autumn Round の結果を受けて、Winter Madness の実施。優勝チームが U15 選手権本選に出場。

②ー４ リーグ戦に関わるチームおよび選手のエントリーとその時期

I ユニットがどのリーグに所属するかは希望制である。その希望を受けて SBDL 運営事務局により所属リーグを決定する。（詳しくは、５ 所属リーグの区分け方法と U15 選手権都道府県予選トーナメント参加資格を参照）

II 新規登録期間

→ ４月１日～５月１０日が JBA のチーム登録

III リーグ戦のユニットおよび選手のエントリー期間

→ Winter Round のユニットおよび選手のエントリーは７月１５日～７月３１日。

→ Autumn Round のユニットおよび選手のエントリーは５月２２日～６月５日。

IV リーグ間移籍期間

→ ７月２５日～７月３１日の間のみ、選手の移籍を行うことができる。これ以外の選手の移籍は原則認めない。

②ー５ ２０１９年度リーグ戦における特別措置について

２０１９年度のみ移行期間ということで特別な措置を講じる。

I ２０１９年度の Autumn Round は２０１８年度に行われた U14 秋季バスケットボール大会の結果を参照する。地区リーグにおいても同様とする。

II ２０１９年度の U15 選手権大会（全国大会）はプレ大会として位置づけられ、２０２０年３月に実施する。２０２０年度の U15 選手権大会（全国大会）から本格実施となり、第１回大会を２０２０年１２月に実施する。

→ ２０１９年度の中学３年生は２０２０年３月、２０２０年度の中学３年生は２０２０年１２月の大会に参加できるということ。

②ー６ 選手への配慮事項

I オフシーズンを設置する。オフシーズンを設ける意図は、暑い時期の大会を避けることと、選手や指導者が個やチームを見つめ直す時間の確保である。

→ 埼玉では、７月８月を試合のオフシーズンとして位置づけ、大会やリーグ戦を設定しない。

→ ここでいうオフシーズンとは完全休養という位置づけではなく、県の事業としてゲームを設定しない期間である。

→ 選手は「個を高める」「自分と向き合う」「ゲームに向けた準備」、指導者は「指導を見直す」「チームビルディングを見直す」「自身の研鑽」の期間として推奨する。

3 リーグ戦の種類と構造 および Winter Madness について

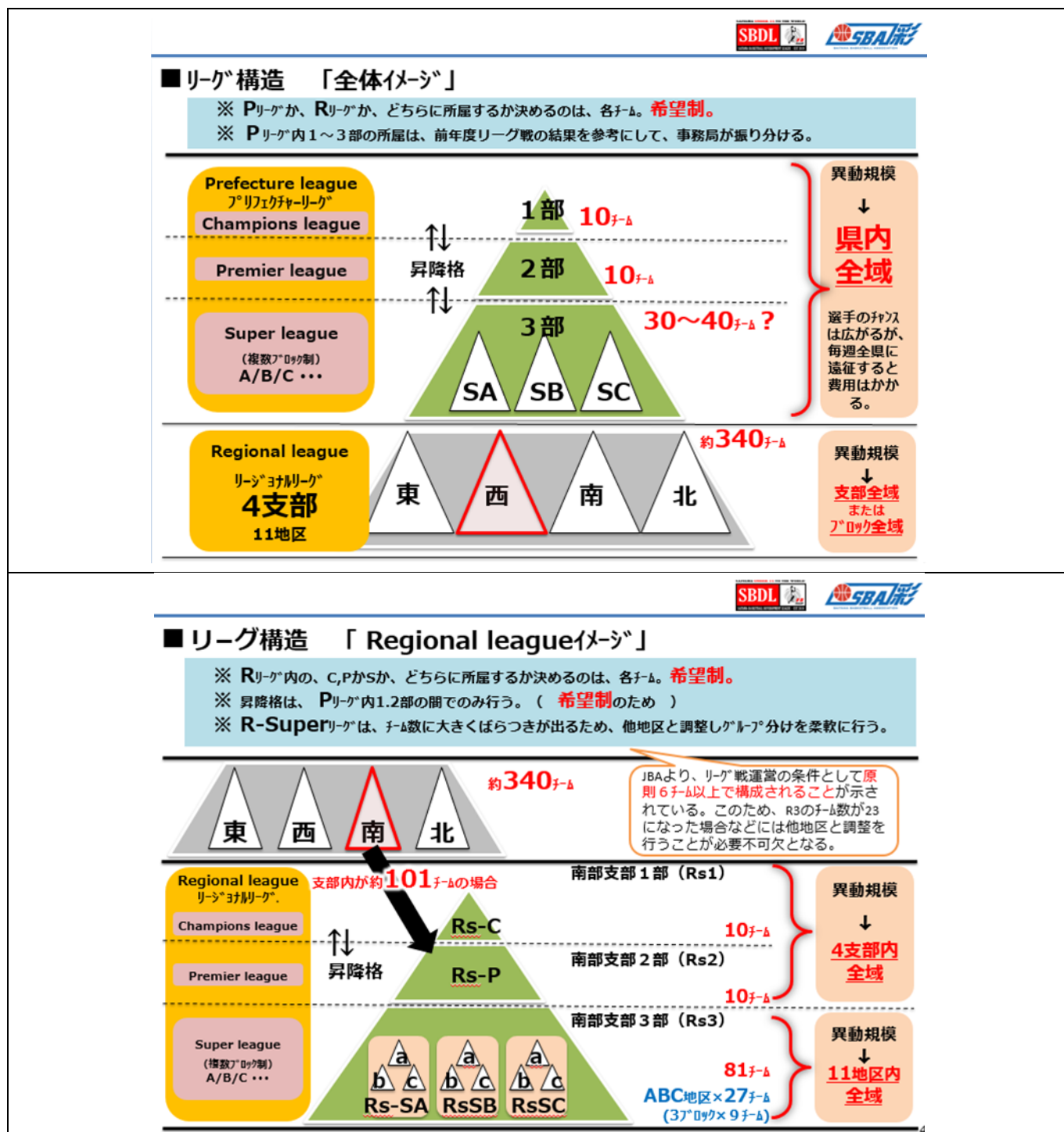
③-1 リーグ戦の種類

Prefecture league (プリフェクチャーリーグ：以下 P L)・・・県内全域での活動					
	名称	略称	区分	所属チーム最大数	
県	Champions league	C	1部	10	(10チーム×1グループ)
	Premier league	P	2部	20	(10チーム×2グループ並列)
	Super league	S	3部	無限	(希望次第、並列)

Regional league (リージョナルリーグ：以下 R L)・・・4支部全域 or 11ブロック全域での活動					
	名称	ブロック	略称	区分	所属チーム最大数
東部	Champions league		Re-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Re-P	5部	20 (10チーム×2グループ並列)
	Super league	東部 A	Re-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		東部 B	Re-SB		
		東部 C	Re-SC		
西部	Champions league		Rw-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Rw-P	5部	20 (10チーム×2グループ並列)
	Super league	西部 A	Rw-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		西部 B	Rw-SB		
		西部 C	Rw-SC		
南部	Champions league		Rs-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Rs-P	5部	20 (10チーム×2グループ並列)
	Super league	南部 A	Rs-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		南部 B	Rs-SB		
		南部 C	Rs-SC		
北部	Champions league		Rn-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Rn-P	5部	20 (10チーム×2グループ並列)
	Super league	北部 A	Rn-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		北部 B	Rn-SB		

③-2 各リーグ戦の構造

I PL、RL のリーグの構造



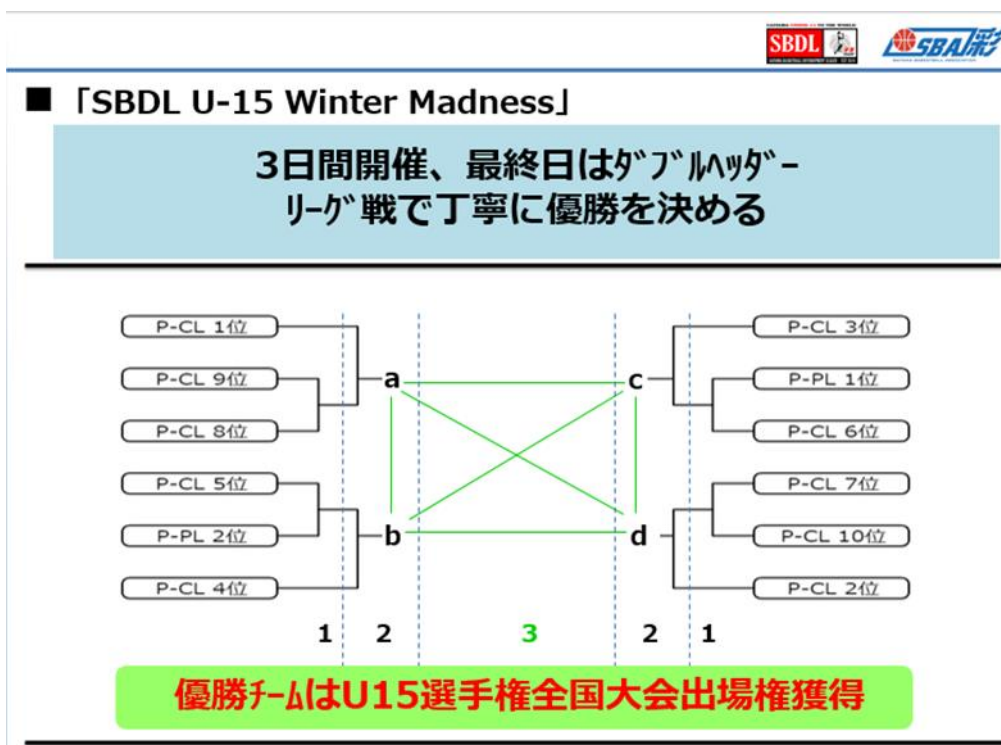


※ Rリーグ内の、C、PかSか、どちらに所属するか決めるのは、各チーム。希望制。

※ 昇降格は、Pリーグ内1.2部の間でのみ行う。(希望制のため)

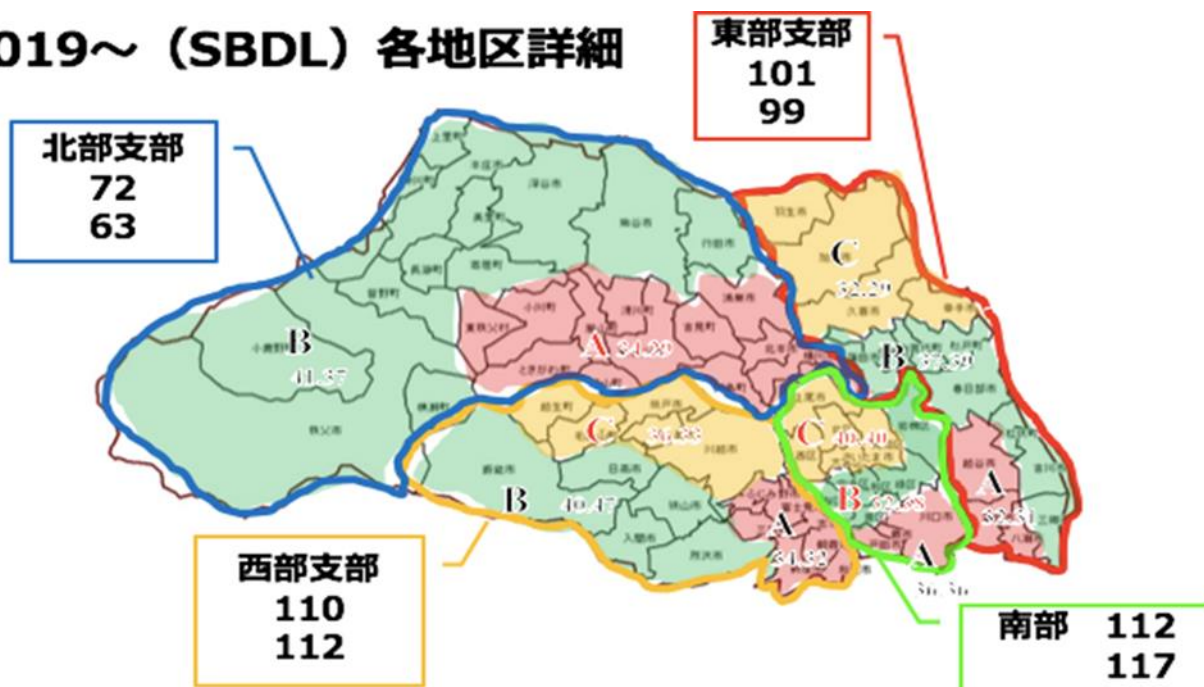
※ R-Superリーグは、チーム数に大きくばらつきが出るため、他地区と調整しリーグ分けを柔軟に行う。

※ リーグの階層については、希望チーム数による変わる場合がある。



③-3 2019年度DL地区割り一覧及び学校数一覧

2019～ (SBDL) 各地区詳細



		市町村名	新 11 地区
	新東部地区	越谷・八潮	東部A
		草加	
		春日部	東部B
		蓮田・白岡・宮代・杉戸	
		三郷・吉川・松伏	
		加須・羽生	東部C
		久喜・幸手	
		新西部地区	朝霞地区(朝霞・志木・和光・新座)
	入間東部		
	所沢		西部B
	狭山		
	入間		
	入間西部		西部C
	川越		
	入間北部		
	新南部地区	川口市	南部A
		蕨・戸田	
		さいたま市A (岩槻区、浦和区、桜区、緑区、南区、中央区)	南部B
		さいたま市B (北区、西区、大宮区、見沼区)	南部C
		伊奈	
		上尾	
		新北部地区	北足立北部
	比企郡		
	行田		北部 B
	秩父		
	児玉		
	熊谷		
	深谷・寄居		

4 リーグ戦の各種エントリー

④-1 ユニットのエントリー

ユニットのエントリーに関して次の規定をおく。

- I JBA にチーム登録をしていること。
- II ユニットがどのリーグに所属するかは希望制である。その希望を受けて SBDL 運営事務局により所属リーグを決定する。
 - 所属リーグの決定方法に際しては、「5 所属リーグの区分け方法と U15 選手権都道府県予選トーナメント参加資格」を参照。
- III 1つのチームが複数のユニットをつくり参加することができる。
 - 同一チーム内の別のユニットが同じリーグへ参加することを認める。
 - 複数ユニットを組む場合は、以下の条件を満たさなければならない。
 - ア ファーストユニット7名以上、セカンドユニット以降も7名以上であること
 - イ ユニット名はファーストユニットが(チーム名)ユニット A、セカンドユニット以降は(チーム名)ユニット B・・・とする。
- ※ この規定はあくまでも複数のユニットを出す場合に適用されるのであって、チームから1ユニットしかリーグ戦に出場しない場合は適用されない。つまり、チームから1ユニットしかエントリーしない場合は、5名以上選手がいればリーグ戦に参加可能である。
- IV JBA にチーム登録しているチームのうち、5名を満たないチーム同士で合同ユニットをつくり、リーグ戦および Winter Madness に参加することができる。
- V リーグの参加費は Winter Round・Autumn Round・Winter Madness それぞれで 3000 円ずつを納入すること。Spring Madness については参加費を徴収しない。
- VI ユニットのエントリーが完了するのは、参加費を納入した時点である。ユニットのエントリーの流れについては、エントリーマニュアルを参照のこと。
- VII チームの参加に際しては、登録した選手およびコーチ全員がスポーツ安全保険(選手は区分 AW、コーチは B または C) に加入しなければならない。同時に、保険に加入したことを証明するものの提出を義務付ける。

④-2 選手のエントリー

- I JBA にチーム登録をしているチームに所属し、個人登録をしている者。
 - JBA の登録証は大会中必ず携帯し、提示を求められた場合に対応できるようにしておくこと。
 - 2018年度からの3年間(2018年度～2020年度)の移行期間に限り、B クラブユースと中学(部活動)、B クラブユースとクラブチームの二重登録を認める。
- II 選手は、自分の所属しているチームのユニットでのみ参加することができる。
- III 選手のエントリーに関わり、以下の取り決めるを行う。
 - B クラブユースと中学(部活動)、B クラブユースとクラブチームの二重登録をしている場合、どちらのチームにエントリーするかは選択することができる。ただし、どちらのチームでもエントリーすることはできない。また、移行については県で決められた移行期間内では移行することができる。
- IV U12/U15/U18 のカテゴリー枠を超えた選手の飛び級参加を認める。ただし、飛び級を認めるの

は以下の場合のみである。

- 飛び級とは年齢が下位の 카테고리から上位の 카테고리の移行を指す。
- 同一 B クラブユース、クラブチーム、または中高一貫校の中での飛び級であること。
- 飛び級による選手のエントリー枠をアンダーエイジ枠とし、各ユニットのアンダーエイジ枠は最大 2 名とする。

V 選手の移籍については、以下のように行う。

- 中学（部活動）、クラブチーム、B クラブユースのいずれかに登録を行った後、年度内で 1 回のみ移籍を認める。
- 移籍の手続きは、7 月 25 日～7 月 31 日の期間のみ。それ以外の期間での移籍は認めない。
- 移籍の手続きは、所定の書類を作成し、SBDL 運営事務局まで提出すること。

VI 選手はスポーツ安全保険に加入しなければならない。

④-3 コーチのエントリー

- I チームおよびユニットのコーチは E 級ライセンス以上を保持しなければならない。
- II 以下の遵守事項を守り、指導にあたること。万が一、この事項が守られない場合は、コーチのエントリー資格を剥奪する場合がある。また、翌年以降もエントリーを認めない場合がある。

遵守事項

暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守する。

行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受理が含まれる。特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応ができない場合があること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。

III コーチはスポーツ安全保険に加入しなければならない

IV 参加しているリーグが異なれば、複数のチームをコーチすることを認める。

5 所属リーグの区分け方法と U15 選手権都道府県予選トーナメント参加資格

⑤-1 Winter Round について

⑤-1-1 前提

I リーグの希望と決定権限

どのリーグに所属するかは希望制。希望と前回リーグの結果をもとに、SBDL 運営事務局により所属リーグが決定される。

※ 前回リーグの結果の権利は、ユニットおよびその母体となるチームが有することとなる。つまり、リーグ戦に参加するユニット数が前年度リーグ戦より減る場合の前回リーグの結果は、上位の権利から施行される。

II 選択肢

希望するリーグの選択肢は以下の4つである。

ア Champions league または Premier league

イ Super league

ウ 4 支部ごとの Champions league または Premier league

エ 4 支部ごとの Super league

III 希望の条件

ア Champions league または Premier league

→ U15 選手権および U15 選手権県予選に参加する意思があり、環境（選手・保護者・場合によっては学校関係者が承認している）が整っていること

→ リーグ戦開催場所が県内全域になっても対応ができること

イ Super league

→ リーグ戦開催場所が県内全域になっても対応ができること

ウ 4 支部ごとの Champions league または Premier league

→ リーグ戦開催場所が自チームの属する支部全域になっても対応ができること

エ 4 支部ごとの Super league

→ リーグ戦開催場所が自チームの属するブロック全域になっても対応ができること

IV 県と支部以下のリーグの数

ア Champions league は1つ

イ Premier league は最大2つ

ウ Super league は制限なし

エ 4 支部ごとの Champions league は1つ

オ 4 支部ごとの Premier league は最大2つ

カ 4 支部ごとの Super league

⑤-1-2 エントリーユニット数によるリーグの区分け方法

I Champions league または Premier league の決め方

ア Champions league と Premier league が 5 チーム以下

- 1 Champions league と Premier league でひとつのリーグ戦を開催する。
- リーグ戦を 2 周行う。

イ Champions league と Premier league が 6 チーム以上 10 チーム以下の場合

- Champions league と Premier league でひとつのリーグ戦を開催する。

ウ Champions league と Premier league が 11 チーム以上 20 チーム以下の場合

- 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。
- ただし、前回リーグ戦が同じ結果の場合は当該チーム同士で決定戦を行う。
- 前回リーグ戦に参加していないチーム（新規参入 or Regional リーグ）の扱いは実績なしとして扱う。

※希望チーム数による Champions league と Premier league の数は次の通りである。

希望チーム数計	Champions league	Premier league
11	6	5
12	6	6
13	7	6
14	8	6
15	9	6
16	10	6
17	10	7
18	10	8
19	10	9
20	10	10

エ Champions league と Premier league が 20 チーム以上 30 チーム以下の場合

→ 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。

※希望チーム数による Champions league と Premier league の数は次の通りである。

希望チーム数計	Champions league	Premier league A	Premier league B
21	10	6	5
22	10	6	6
23	10	7	6
24	10	7	7
25	10	8	7
26	10	8	8
27	10	9	8
28	10	9	9
29	10	10	9
30	10	10	10

オ Champions league と Premier league が 31 チーム以上の場合

→ 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。

→ 31 番目以降は Super league に所属する。

II Super league の決め方

ア Super league が 5 チーム以下

→ Super league でひとつのリーグ戦を開催する。

→ リーグ戦を 2 周行う。

イ Super league が 6 チーム以上 10 チーム以下の場合

→ Super league でひとつのリーグ戦を開催する。

ウ Super league が 11 チーム以上の場合

→ Super league 内のどの山に所属するかは、前回リーグ戦の結果を参照にして振り分ける。

→ 前回リーグ戦で Super league に参加していないチームは抽選により振り分ける。

III 4 支部 Champions league と Premier league の決め方

- ア 4 支部 Champions league と Premier league が 5 チーム以下
 → 1 部・2 部でひとつのリーグ戦を開催する。
 → リーグ戦を 2 周行う。
- イ 4 支部 Champions league と Premier league が 6 チーム以上 10 チーム以下の場合
 → 4 支部 Champions league と Premier league でひとつのリーグ戦を開催する。
- ウ 4 支部 Champions league と Premier league が 11 チーム以上 20 チーム以下の場合
 → 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。
 → ただし、前回リーグ戦が同じ結果の場合は当該チーム同士で決定戦を行う。
 → 前回に 4 支部 Champions league と Premier league 参加していないチーム
 （新規参入 or 4 支部 Super league 所属）の扱いは、実績なしとして扱う。

※希望チーム数による 4 支部 Champions league と Premier league の数は次の通りである。

希望チーム数計	4 支部 Champions league	4 支部 Premier league
11	6	5
12	6	6
13	7	6
14	8	6
15	9	6
16	10	6
17	10	7
18	10	8
19	10	9
20	10	10

エ 4 支部 Champions league と Premier league が 20 チーム以上 30 チーム以下の場合

→ 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。

※希望チーム数による 4 支部 Champions league と Premier league の数は次の通りである。

希望チーム数計	4 支部 Champions league	4 支部 Premier league A	4 支部 Premier league B
21	10	6	5
22	10	6	6
23	10	7	6
24	10	7	7
25	10	8	7
26	10	8	8
27	10	9	8
28	10	9	9
29	10	10	9
30	10	10	10

オ 4 支部 Champions league と Premier league が 31 チーム以上の場合

→ 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。

→ 31 番目以降は 4 支部 Super league に所属する。

IV 4 支部 Super league の決め方

ア 4 支部 Super league が 5 チーム以下

→ 4 支部 Super league でひとつのリーグ戦を開催する。

→ リーグ戦を 2 周行う。

イ 4 支部 Super league が 6 チーム以上 10 チーム以下の場合

→ 4 支部 Super league でひとつのリーグ戦を開催する。

ウ 4 支部 Super league が 11 チーム以上の場合

→ ブロックリーグ内のどの山に所属するかは、前回リーグ戦の結果を参照にして振り分ける。

→ 前回リーグ戦に参加していないチームは抽選により振り分ける。

※ ただし、4 支部 Champions league 以下のリーグの決め方においては、ここに書かれていることを大原則とするが、支部の実情を考慮した上での変更はやむを得ない。ただし、変更については支部内で十分に協議をした上で行い、決定については支部代表が SBDL 運営事務局に承認を得ること。

⑤-2 Spring Madness について

⑤-2-1 Spring Madness の開催要件

入れ替え戦は、各リーグの最大数を超えた場合のみ行うこととする。

⑤-2-2 Spring Madness の方法

I Champions league と Premier league の入れ替え方法

Champions league と Premier league の入れ替え戦の場合は次のとおりである。

ア Champions league と Premier league で計 10 チーム以内の場合

→ 入れ替え戦を行わない。

イ Champions league と Premier league で計 11 チーム以上 20 チーム以内の場合

→ Champions league 10 位と Premier league 1 位で入れ替え戦を行う。

ウ Champions league と Premier league で計 21 チーム以上の場合

→ Champions league 9 位、10 位と Premier league A 1 位および Premier league B 1 位が入れ替え戦を行う。

※ 新規参入チーム（入れ替え戦からリーグ戦への参加）が出た場合は？

Winter Round と同様に、新規参入は実績なしという扱いになるので、入れ替え戦の参加資格を持たない。

II Premier league と Super league の入れ替え方法

Premier league と Super league の入れ替え戦については、次のように行う。ただし、Premier league と Super league は参加を希望する条件が違うため、Super league の意向を確認し、先述した条件を満たしていない場合には、入れ替え戦に参加することができない。

ア Premier league がない場合

→ 入れ替え戦なし

イ Premier league が 1 リーグのみの場合

→ 入れ替え戦なし

ウ Premier league が 2 リーグの場合

→ Premier league A と Premier league B の 9 位と 10 位のチームおよび Super league 1 位で条件を満たしているチームで入れ替え戦を行う。

⑤-2-3 4 支部チャンピオンシップについて

各支部の Champions league で 1 位になったチーム同士で、4 支部チャンピオンシップを行う。

I 時期

II 試合方法

4 支部代表チームによるリーグ戦

III 運営責任者

IV 実施要項等

別に定める要綱を確認すること

⑤-2-4 Autumn Round について

基本的に、Winter Round の数と同じ数のグループを作って行う。入れ替え戦があった場合は入れ替えた結果を参考にして、リーグ戦を行う。

I 新規参入チームの扱いは自動的に Super league へ所属となる。

→ リーグ戦の目的の一つに「① 登録したすべての選手の長期的な育成を図ること。」とある。新規参入チームの Champions league または Premier league への所属を認めてしまうと、U15 選手権（全国大会）に出場する目的のためのチーム作りを認めてしまうことになり、先述の目的と合致しない。そのため、新規参入チームは等しく Super league への所属とせざるを得ない。ただし、Winter Round は参加希望制であり、前回リーグ戦の結果が所属リーグの決定に反映されるため、Autumn Round から参加するメリットは、次世代のリーグ戦への実績作りである。

⑤-2-5 Winter Madness について

この Winter Madness は、毎年12月（2019年度は2020年3月）に実施される U15 選手権大会に参加する埼玉県代表として出場するチームを決めるトーナメントである。

I 参加資格

Autumn Round における Champions league 参加チーム 10 チームと Premier league A と B の 1 位のチームの計 12 チーム

※ ただし、これは最大数であって、Champions league と Premier league の総数が 12 に満たない場合は、その数に合わせることをとする。場合分けは以下の通り。

ア Champions league と Premier league の総数が 12 チーム以内の場合

→ Champions league と Premier league に参加している全チーム

イ Champions league と Premier league の総数が 13 チーム以上 20 チーム以内の場合

→ Champions league 参加 10 チーム + Premier league の上位 2 チーム

ウ Champions league と Premier league の総数が 21 チーム以上の場合

→ Champions league 参加 10 チーム + Premier league A、B の 1 位チーム

II 試合方法

最大 12 チームによるトーナメント方式

III 運営責任者

IV 実施要項等

別に定める要綱を確認すること

6 リーグ戦の運営例

6-① リーグの予定の計画方法

3 リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造

■ 年間計画

既存のトナメント日程、月1回の休息、各地区の実態や学校スケジュールなどを考慮してリーグ日程を入れこみ年間計画を作成

- DCは、原則、第4週（土）14:00-16:00の設定とする。
(集合13:30、練習14:00-16:00、解散目安16:30)
(毎週土曜授業の私立や、大会前で午前はF-J練習へ参加することなども考慮して、午後2時間設定)
- DLは、毎週（日）を基本とする。(実態はA-J毎に調整。(土)利用も可)
- DLは、1ラウンド期間が3ヶ月(約12週)。試合必要週は9週。
よって毎月1週は休息とすることが可能。
- 暑い日のDLは半日実施のみ可、オフィシャルタイムアウトは必須とする。
(1チームあたり1試合まで。熱中症の危険があるため、2試合は行わない。SBAガイドライン厳守。)

※ 実際の日程詳細は、各ブロックごとに調整し、運営委員が作成する

▲ 新入大会
△ 全中
★ ジェニアーズ
※ プレJW 2020のみ
◆ JW 2020～
● Winter Madness
○ U-14 所属リーグ決定戦
☆ U-15 Challenge Match

24

6-② 1日のタイムスケジュール

3 リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造

■ 1日の運営例 パターンA(10チーム1日1試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場1面使用で各チーム1日1試合の運営例

① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

下記の運営日程を9日間確保(月に3回、月1回は休息)すると、下の10チームリーグを1周(45試合)消化可能。

※ 時間的にゆとりがあり、アップ指導なども丁寧に出来るので、ABC案の中で最も望ましい。

※ チームは、時間帯で会場入りできる。

	時間	Xコート	審判	空き
集合	8:00			
第一試合	9:00	A-B	I-J	CDEFGH
第二試合	10:30	C-D	A-B	EFGHIJ
第三試合	12:00	E-F	C-D	ABGHIJ
第四試合	13:30	G-H	E-F	ABCDGH
第五試合	15:00	I-J	G-H	ABCDEF
解散	16:30			

34

3 リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造



■ 1日の運営例 ハ°ターンB(10チーム1日1試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム半日で1試合の運営例

① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

下記の運営日程を

9日間確保(月に3回、月1回は休息)

すると、下の10チームリーグを

1周(45試合)消化可能。

※ 他競技との体育館の兼ね合いもあるため、
「日程調整はできたが会場確保が困難」など
という場合には有効。
※ 運営的には、少し忙しい。

	時間	OJ-ト	審判	PJ-ト	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	A-B	I-J	G-H	D-E	CF
第二試合	10:30	C-D	A-B	I-J	F-G	EH
第三試合	12:00	E-F	C-D			ABGH
解散	13:30					

35

3 リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造



■ 1日の運営例 ハ°ターンC(10チーム1日2試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム1日2試合の運営例

① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

左記の運営日程を**5日間確保**すると、下の
10チームリーグを1周(45試合)消化可能。

※ 2試合目は疲労も出るため、出来れば、一日一
試合が望ましい。日程調整が困難な場合など、
10チームすべての了承があれば実施は可能。

	時間	OJ-ト	審判	PJ-ト	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	A-B	I-J	F-G	D-E	CH
第二試合	10:30	C-D	A-B	H-I	F-G	EJ
第三試合	12:00	E-F	C-D	A-J	H-I	BG
第四試合	13:30	G-H	E-F	B-C	A-J	DI
第五試合	15:00	I-J	G-H	D-E	B-C	AF
解散	16:30					

36

4 運営と人的配置・設置手順



■各リーグのセクション組織の方法

「注意点」

- 未経験者にいきなり役職が回ってきたときに負担にならないように役割分担を行う。
- 「運営者」＝「チーム」「選手のために運営を行う。」子どもがチームをすることが一番の目的。
- 全リーグ運営方法を統一することでチーム代表への負担を減らす。

仕事内容（例）

再度仕事
内容の精
選が必要

	仕事内容
運営委員 2名	○リーグ管内において各チームの代表者に役割分担を依頼（二人で相談する） ○リーグの実際の運営、事務作成、スケジュール策定、（パンフレットの作成）（1名） ○地区担当との連絡調整、試合結果報告、関係チームへの連絡調整等（1名）
競技担当 2名	○機材の管理・準備、スコアシートの準備・管理、対戦表等の管理等（1名） ○マンツーマンコミッショナーの会場担当、選手・コーチ証（10）の確認（1名）
審判担当 2名	○審判審判の策定、審判当てる作成、審判部との連絡等（2名） ※ライセンス取得者が望ましい。
財務担当 2名	○リーグに関わる会計、競技運営部会計との連絡調整等（2名）
会場担当 2名	○会場準備調整、会場の写真撮影（1名） ○駐車場・駐輪場確認、会場での安全管理（1名）

A・Bチームが「運営委員」C・D「競技担当」E・F「審判担当」G・H「財務担当」I・J「会場担当」

「伝達方法」

- Pリーグ（県）の「運営委員」は、U15部会で依頼する。
- Rリーグ（支部）の「運営委員」は、U15部会の「地区代表」が依頼する。
- 「運営委員」が各チーム代表者に役割分担を依頼する。
- 仕事内容は、U15部会で各セクションからの伝達を「運営委員」が伝える。
- 専門外のチーム代表者がいることに配慮して役割分担を依頼する。（リーグの構成によって柔軟に）

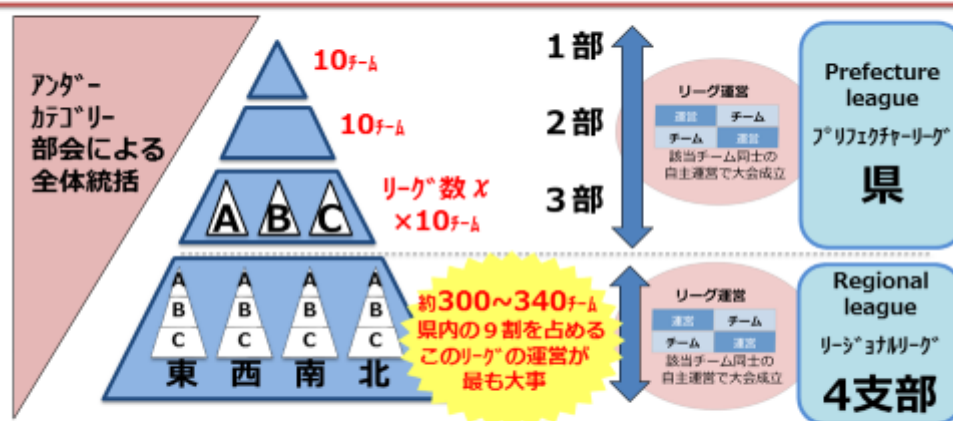
62

4 運営と人的配置・設置手順



■SBDL運営イメージ

28年度SJB所属校数
男子386、女子380



運営事務局（7～8名）

運営委員（2名×リーグ数）

➡ 県内リーグ全体の運営統括

➡ 各リーグ内の運営・調整

63

7 保険について

埼玉県バスケットボール協会U15カテゴリーの行事に参加する場合には、必ず保険に加入をしていただきます。以下の項目を確認の上、適切に手続きをお願いします。

- ① 事業に参加するコーチおよび選手はすべて加入をする。
- ② 加入する保険は「スポーツ安全保険」とする。
- ③ 「スポーツ安全保険」の加入区分は、選手が「AW（1450円）」、コーチは年齢に応じて加入する。
- ④ 加入の手続きは、各チームで責任を持って行う。
- ⑤ 事業の参加の際には、加入済みであることを証明していただく場合があります。
- ⑥ チームの移籍があった場合、新しいチームで再度保険に加入する。

※ 事業に関する諸注意

・ DLでは1チーム（JBAに登録をした団体）から、複数のユニットがDLに参加をする場合があります。このとき、同日に同日に別会場でゲームを行うこともあります。この場合も保険の適用になると確認が取れています。

・ DCについては、個人で事業に参加をすることになります。この場合もチームで加入しているスポーツ安全保険の適用範囲内になります。そのため、万が一けが等があった場合はチームで手続きをしていただくことになります。また、チームでの活動と個人での活動では補償内容等に違いがありますので、ご注意ください。詳しくは「スポーツ安全保険」のパンフレットまたはHPをご確認ください。

※ 保険加入に関わる確認事項

・ 保険加入は原則、個人またはチームでの問題です。すでに個人またはチームでも加入をしている場合があるかもしれません。しかし、対人スポーツであることを考えると、万が一の場合、互いが最低限度の補償が確保されている状態（車でいうところの自賠責保険のような考え方）が望ましいと考えました。そこで、今回のように事業に参加する個人は全員同じ保険に加入するように決定しました。ご了承ください。お願いします。

・ 選手に関する保険は区分A1（800円）とAW（1450円）があります。今回、保険の区分を1450円にしたのは、事業全般の活動をまかなうことができる保険だからです。一番大切にしたい考え方は、「どの事業においても保険に加入していない選手やコーチが事業に参加をしていない状態をつくる」ということです。費用、作業効率、実際の活動等を踏まえて今回の結果となりましたので、併せてご了承ください。

8 リーグ戦のエントリー方法

⑧-1 リーグ戦のエントリー資格

- ① JBA に登録をしているチームであること。
- ② JBA に登録をしているチームに所属し、個人登録をしている選手であること。

⑧-2 エントリーに関わる確認事項

⑧-2-(1) ユニット【リーグ戦に参加する1つの集団の単位】

- (あ) 所属リーグは原則参加希望制とする

※ただし、所属リーグの最終決定はSBDL運営事務局が行う

- (い) 1つのチームから複数のユニットが参加可能とする

複数のユニットを組む場合の条件

- ・各ユニット7名以上とする
- ・チーム名にA, B・・・をつけ、ユニットの区別をする

※この規定はあくまでも**複数のユニットを出す場合に適用**されるのであって、チームから1ユニットしかリーグ戦に出場しない場合は適用されない。つまり、チームから1ユニットしかエントリーしない場合は、5名以上選手がいればリーグ戦に参加可能である

(う) JBA にチーム登録しているチームのうち、5名を満たないチーム同士で合同ユニットをつくり、リーグ戦およびU15選手権都道府県予選トーナメントに参加することができる

⑧-2-(2) 選手

- (あ) 大会中は登録証を必ず携帯し、提示することができるようにする

- (い) 所属しているチームまたは、そのチーム内のユニットでのみ参加可能とする

(う) 2018年度から2020年度に限り、**Bクラブユースと中学**、または**Bクラブユースとクラブチーム**の二重登録を認める

※ただし、**両チームからのエントリーは不可**

- (え) 以下の条件を満たす場合は、U12・U15・U18のカテゴリー枠を超えた参加を認める

- ・下位から上位
- ・同一チーム内(Bクラブユース・クラブチーム・中高一貫校など)

※ただし、枠を超えた選手のエントリー枠をアンダーエイジ枠とし、各チーム及びユニットで**最大2名**とする

⑧-2-(3) コーチ

- (あ) チーム及びユニットのコーチはE級ライセンス以上を保持しなければならない

- (い) 以下の遵守事項を守り、指導にあたらなければならない

遵守事項

暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守する。

行動規範には暴言暴力の他、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与及び受理が含まれる。特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応ができないことがあること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。

⑧-3 エントリーとその後の流れ

⑧-3-(1) エントリー

【U15 Autumn Round : 2019 年 5 月 22 日～6 月 5 日】

【U14 Winter Round : 2019 年 7 月 15 日～7 月 31 日】

(あ) ユニットの代表者は、埼玉県バスケットボール協会 HP から様式 SBDL-E1 SBDL エントリーシート【〇〇】をダウンロード

(い) 必要事項を記入し、参加を希望するリーグの代表者にメールで送信

※ファイル名の【〇〇】の部分をチーム名に変更して添付する

参加希望リーグ	区分	所属・担当者
Prefecture league【県リーグ】	県	奥谷 光彦
Regional league【地区リーグ】 Champions league・Premier league (4・5 部)	東部	石合 雅徳
	西部	櫻井 智彦
	南部	佐藤 正規
	北部	江尻 貴光
Regional league【地区リーグ】 Superleague(6 部)	東部 A	福世一平
	東部 B	小篠拓央
	東部 C	栗本照久
	西部 A	今井 駿介
	西部 B	高橋 将
	西部 C	川端 優司
	南部 A	鈴木 怜
	南部 B	阿部 哲幸
	南部 C	笹原 秀和
	北部 A	杉田 卓也
	北部 B	越智 啓太

※ メールアドレスについては、5 月 19 日代表者会議にてお知らせいたします。

表1 リーグ代表者一覧

(様式SBDL-E1)	
U15 SBDL エントリーシート	
参加希望リーグ	(選択する)
チームID	
ユニット名	※複数のユニットをエントリーしている場合はA、B等をチーム名の後に明記
男女別	(選択する)
チーム代表者名	
チーム代表者連絡先TEL	
チーム代表者アドレス	

(う) リーグの代表者から各ユニットの代表者に、所属グループ(実際にリーグ戦を行う最大10ユニットの集団)が通知される

【U15 Autumn Round : 2019 年 6 月 12 日】

【U14 Winter Round : 2019 年 10 月 20 日】

⑧-3-(2) U15 Autumn Round(2019 年 9 月 1 日～11 月 7 日)

U14 Winter Round (2020 年 1 月 4 日～ 3 月 20 日)

(あ) 所属グループの通知を受け、同グループに所属するチームの代表者で打ち合わせを行い、グループ内の役割分担を行う

※役割の内容については別紙『セクション組織の方法』を参照

【U15 Autumn Round : 2019 年 8 月 18 日】

【U14 Winter Round : 2019 年 12 月 15 日】

(い) ユニットの代表者は埼玉県バスケットボール協会 HP から様式 SBDL-E2 グループエントリーシート【〇〇】をダウンロードして必要事項を入力の上、④で決定した運営委員に送信
【リーグ戦初日の1週間前までに送信】

(様式SBDL-E2)

U15 SBDL グループエントリーシート

参加グループ

チームID

チーム名 ※複数のユニットをエントリーしている場合はA、B等をチーム名の後に明記

男女別 (選択する)

登録選手一覧

	メンバーID	氏名	氏名(カナ)	年齢(4/1時点)	生年月日
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

(う) 運営委員は所属グループのグループエントリーシートを取りまとめ、「表1 リーグの代表者一覧」にあるリーグ代表者に送信

Prefecture league 【県リーグ】 → リーグ戦事業部 (奥谷)

Regional league 【地区リーグ 1部・2部】 → 4支部代表者

Regional league 【地区リーグ 3部】 → 11ブロック代表者

(え) ユニットの代表者は【Team JBAのマイページ】から【チーム加入選手一覧(PDF)】をプリントアウトして「グループ代表者会議」にて運営委員に提出

(お) グループの運営委員は事前に提出されたグループエントリーシートを当日会場に持参し、各ユニットが持参したチーム加入選手一覧とグループエントリーシート及びスコアシートに記入された選手が一致しているかを確認する。

※なお、選手の確認は試合日ごとに行うのが望ましい

⑧-4 結果の報告

リーグ戦終了後、運営委員は速やかに支部長、ブロック長へ結果の報告を行う

期限 【U15 Autumn Round : 2019年11月17日】

【U14 Winter Round : 2020年3月31日】

⑧-5 U15 Winter Madness(2019年11月10・17・24日)

(あ) 該当チームの代表者は、Autumn Roundの際と同様に【チーム加入選手一覧(PDF)】をプリントアウトして「グループ代表者会議」で運営委員に提出

(い) 運営委員は事前に提出されたグループエントリーシートを当日会場に持参し、各ユニットが持参したチーム加入選手一覧とグループエントリーシート及びスコアシートに記入された選手が一致しているかを確認する


⑧-5 移籍について

※ユニット間の移籍を含む

(あ) 選手は【Team JBA】より移籍手続きを行う

※Autumn Round 初戦にチームの代表者が【チーム加入選手一覧(PDF)】を提出することができるように手続きを完了すること

(い) 選手の旧所属ユニットと新所属ユニットの代表者は、①と並行して埼玉県バスケットボール協会 HP から様式 SBDL-E3 移籍届をダウンロード

(様式 SBDL-E3)	
U15 SBDL 移籍届	
<div>移籍選手</div>	
移籍選手 ID	<input type="text"/>
移籍選手 氏名	<input type="text"/>
男女別	<input type="text" value="(選択する)"/>
<div>移籍チーム</div>	
移籍前所属リーグ	<input type="text" value="(選択する)"/>
移籍前所属ユニット名	<input type="text"/>
	
移籍後所属リーグ	<input type="text" value="(選択する)"/>
移籍後所属ユニット名	<input type="text"/>

(う) (い) の様式に必要事項を記入し、旧所属ユニットの代表者は移籍前、新所属ユニットの代表者は移籍後のリーグの代表者へ送信

※送信先はリーグ代表者一覧を参照

(え) リーグ代表者から、該当グループの運営委員に選手の移籍を伝達

9 審判について

⑨ー1 リーグ戦の審判について

リーグ戦については「帯同審判制」で行う。参加するチームは責任を持って審判員を1名用意して、大会に参加する。なお、審判員はライセンス取得者とし、日によって審判員が違う人物でも構わない。

帯同審判員を用意するためにかかる費用(交通費、日当など)は各チームで用意すること。

なお、トップリーグについてはゲームレベルに鑑みて、C級以上の審判員を必ず用意することを参加条件とする。

⑨ー2 トーナメント戦の審判について

対象となる大会・ゲーム：Winter Madness, Spring Madness (入れ替え戦)、リーグ決め決定戦など

審判員の募集、割当作成はU15審判委員会で対応する。審判員派遣にかかる費用については大会本部で負担する(交通費+日当)。

⑨ー3 審判担当者の役割

【バスケットボール競技規則のまえがきより】

審判は①規則を堅持してプレーヤーの足りないところを補いつつこれに健全な方向を与えるとともに、②そのゲームを公正にかつ円滑に運営することによって③すべての人に信頼されなければならない。そのためには規則を文字どおりに読みとり、その規則に照らしながらそれぞれの判断をくだすことをくり返しくり返しつづけることによって、ついには④それを感覚的にも誤りなく瞬時に判断できるようになることが必要である。

※キーワード (①～④は上記に対応)

- ① 競技規則を正しく理解すること。判定や判断の根拠は全て競技規則に基づく。
- ② スムーズなゲーム運営と公正・公平な態度と判定を心掛ける。
- ③ コート内外でプレーヤー、ベンチ、観客の全てから信頼されるような判定、振る舞いを心掛ける。
- ④ ゲームの流れに即した判定ができるようにする (明らかなものを逃さない)。

⑨ー4 割当作成上の留意点

上記①～④を達成するために審判割当を作成する際は、以下の項目をできる限り反映することが望ましい。

*ゲームレベルに合った審判員を割り当てること

*対戦チーム同士の関係を理解しておくこと。

(例 前回の対戦で遺恨が残るようなことが起きていないか 勝った方が次のステージへ勝ち上がるなど)

*審判員と対戦チームの関係を理解すること。

(例 審判員とチーム関係者に深いかかわりがないか、その審判員に対してチームが不信感を抱いていないか など)

*同一大会で、同じ審判員が同じチームを吹くことがないようにする。(公正・公平という視点から)

⑨-5 審判員の服装等

* 審判員は黒のスラックス、グレーのレフェリーカッター、黒のソックス、黒のシューズ、ワッペンを着用すること。なお、スラックスとレフェリーカッターは JBA 公認のものを着用する。

10 競技について

⑩-1 会場設営

【コート】

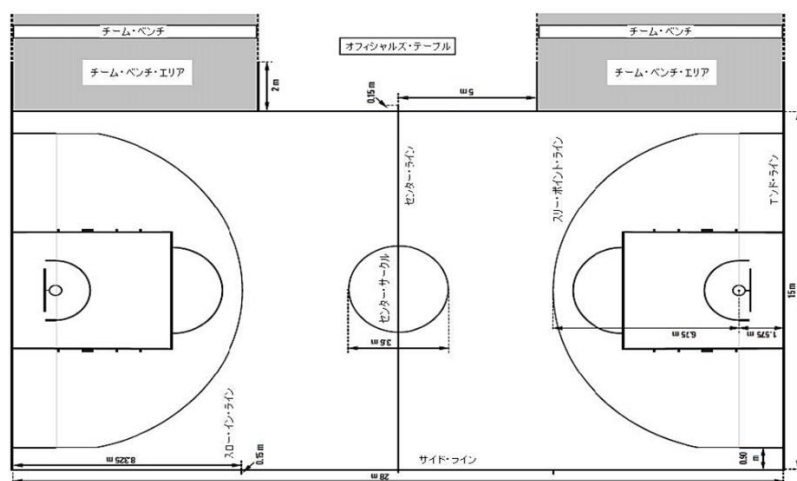
・会場の確保については、同リーグ内のチームが使用している会場を原則使用する。公共施設を利用することとは差し支えない。

・コートの企画は、日本バスケットボール協会競技規則 2018 に基づいたものとする。(図1) ただし、異なる企画による会場の場合は、その会場のものに準ずる。

・コートのラインが白以外の場合、ラインテープで白にする、またはマスキングテープで必要でないラインを隠すことについては、会場ごとに判断を行う。

・会場のコート面数は、試合数に応じて1面または2面を準備する。

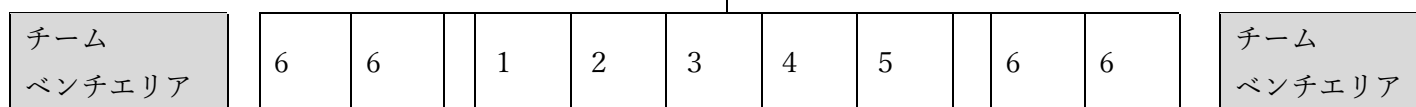
図1 コートの全寸法



⑩-2 スコアラーズテーブル

スコアラーズテーブルについては、以下のように設営する。

コート



1 = ショットクロックオペレーター

2 = タイマー

4 = スコアラー

5 = アシスタントスコアラー

3 = コミッショナー（必要な場合）

6 = 交代席

⑩-3 機材

会場設営にあたり、機材は以下のもの、またはそれを代用した機材を準備する。

*下記に記しているものは、1コート分の機材とする

【必ず準備する機材】

機 材	個 数
ボール（U-15 部会より支給された試合球）	1 ～ 2 個
ゲームクロック	1 個
ショットクロック	1 セット
スコアボード	1 台
タイムアウト時のストップウォッチ あるいはゲームクロックとは別のよく見える表示装置	1 個
ホーン	1 個
スコアシート	1 枚
プレイヤーファウルの表示器具	1 セット
チームファウルの表示器具	1 セット
オルタネイティングポゼッションアローの表示器具	1 個

【あった方がよい機材】

- ・不具合が生じた場合の上記の予備機材
- ・ラインテープ（白）
- ・マスキングテープ（茶）
- ・ゴールネット

⑩-4 日程

【例：8:00 開場、9:00 トスアップの場合】

8:00	開場
8:30	顧問・コーチ打ち合わせ <u>*チームメンバー表の提出</u>
試合開始 15 分前	スコアシートに記載されたメンバーと提出されたメンバー表の確認
～試合開始 5 分前	スターティングメンバーのチェック・コーチのサイン コーチライセンスの提出（T.O 席[コミッショナー]に提出する）
9:00	トスアップ 第 2 試合以降は時程に沿って試合を行う。 スコアシートを前試合のハーフタイム終了までに記入しておく。
試合の後半	次試合のメンバー確認
試合終了後	顧問・コーチはコーチライセンスを受け取る。
全試合終了後	片づけ
片づけ終了後	解散

11 マンツーマンコミッショナーについて

⑪－1 マンツーマンコミッショナーの配置について

リーグ戦では、すべての試合にマンツーマンコミッショナーは、配置されない。ただしリーグ戦の目的は、「実力が拮抗したゲームの設定を通して、選手の育成を図ること。」として述べられる。このリーグ戦では、「プレーヤーズファースト」の精神を持ち、選手にマンツーマンディフェンスを普及、推進し、選手を育成することも目的となる。そのためディフェンスについては、JBA が提唱するマンツーマンディフェンスの基準規則に準じて開催される。

＊「U15 選手権予選」では、マンツーマンコミッショナーを配置する。マンツーマンペナルティを適応する。

⑪－2 マンツーマンディフェンス基準規則違反のディフェンスが起きた場合。

・JBA が提唱するマンツーマンディフェンスの基準規則に準じていないディフェンスの場合は、各リーグに配置されている「競技担当」中心に JBA が提唱するマンツーマンディフェンスの基準規則と照らし合わせて判断する。

・技術不足により故意ではない違反行為が発生する可能性もあるため、すぐにゾーンディフェンスと判断せずに焦らずに「競技担当者」を中心に複数人で確認して見極める必要がある。もし違反しているディフェンスが起きていたら「競技担当者」を中心に該当チームのコーチ対応を確認する。

・「競技担当者」がピリオド間、ハーフタイムを活用し、コーチにしっかりと説明を行うこと。

指導されたチームのコーチは、指導に従い選手にディフェンスの指導をすること。コーチの指導により選手のディフェンスが「改善」を確認する。違反を取り締まるためでないため「改善」ができたかどうか焦らずに「競技担当者」を中心に複数人で確認する。

＊各リーグで判断しかねないディフェンスが起きた場合は、映像等の資料で県の運営事務局に報告する。

・以下 1～7 にポイントとなる（JBA マンツーマンディフェンスの基準規則）

1. マッチアップ
2. プレスディフェンス
3. オンボールディフェンス
4. オフボールディフェンス
5. ヘルプローテーション
6. スイッチ
7. トラップ